

## 感染症学

責任者・コーディネーター		感染症学・免疫学分野 村木 靖 教授		
担当講座・学科（分野）		感染症学・免疫学分野、衛生学公衆衛生学講座、機能病態学分野、睡眠医療学科、消化器内科消化管分野、病理診断学講座、呼・アレ・膠原病内科分野、小児科学講座		
担当教員		村木 靖 教授、坂田 清美 教授、佐藤 孝 教授、櫻井 滋 教授、中村 昌太郎 准教授、刑部 光正 講師、秋山 真親 助教、外館 玄一郎 助教		
対象学年	4	区分・時間数	演習	10コマ 15.0時間
期間	前期		実習	0コマ 0.0時間

### ・学習方針（講義概要等）

感染症学を学ぶ目的は、2年次で学んだ微生物学や免疫学の知識を、臨床医学の立場から再構築することである。感染症はほとんどの診療科目と関係があるため、基礎医学の立場からだけではなく、臨床医学の視点で学習し直すことがより重要である。基礎医学で学んだ知識の復習をし、さらに各々の講義と演習を通じ、役に立つ感染症の知識を身に着けることを期待する。

### ・教育成果（アウトカム）

各教科で学んできた感染症に関連する知識を横断的に整理し、感染症の重要ポイントについて説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 3、4 ）

### ・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	微生物の基本的な構造の説明ができる。
2	微生物の増殖様式の説明ができる。
3	微生物の病原性の発揮の仕方の説明ができる。
4	感染症に関連する医療安全の説明ができる。
5	感染症に関連する法規や法令の説明ができる。
6	各感染性疾患の特徴（症状、病態、検査、基本的治療など）の説明ができる。

### ・講義場所

演習： 矢巾キャンパス西1-D講義室

・講義日程

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標 番号	コアカリ
演習	6/11(月)	1	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	臨床感染症学の学修に必要な微生物（細菌、真菌、ウイルス）の基本的性状およびそれらの病態との関連性	1、2、 3、6	C-3-1)-(1)①、 C-3-1)-(1)②、 C-3-1)-(1)④、 C-3-1)-(1)⑤、 C-3-1)-(1)⑥、 C-3-1)-(2)①、 C-3-1)-(2)②、E- 2-2)②
演習	6/11(月)	2	感染症学・免疫学分野	村木 靖 教授	臨床感染症学の学修に必要な微生物（細菌、真菌、ウイルス）の基本的性状およびそれらの病態との関連性	1、2、 3、6	C-3-1)-(4)①、 C-3-1)-(4)②、 C-3-1)-(4)③、 C-3-2)-(4)①、E- 2-2)③、 F-2-3)③、 E-2-1)⑦
演習	6/12(火)	1	病理診断学講座	刑部 光正 講師	炎症の概念と感染症、またそれらの治癒過程	6	C-4-5)①、 C-4-5)②、 C-4-5)③
演習	6/12(火)	2	呼・アレ・膠原病内科分野	秋山 真親 助教	呼吸器系の感染症	6	D-6-1)⑩、 D-6-4)-(2)②、 D-6-4)-(2)③、 D-6-4)-(2)⑤、 D-6-4)-(2)⑦
演習	6/13(水)	1	消化器内科消化管分野	中村 昌太郎 准教授	消化器の感染症	6	D-7-4)-(2)②、 D-7-4)-(3)⑫、 D-7-4)-(5)①、E- 2-4)-(1)⑧、E-2- 4)-(2)①、E-2- 4)-(2)⑥、E-2- 4)-(2)⑦、E-2- 4)-(2)⑬、E-2- 4)-(3)③、E-2- 4)-(3)④
演習	6/13(水)	2	衛生学公衆衛生学講座	坂田 清美 教授	感染症に関連する法規や法令	5	B-1-8)⑩
演習	6/18(月)	1	機能病態学分野	佐藤 孝 教授	寄生虫学総論と代表的な寄生虫疾患の病態	1、2、 3、6	C-3-1)-(5)②、 C-3-1)-(5)③、 C-3-1)-(5)④、 C-3-1)-(5)⑤、 C-3-2)-(4)①、E- 2-4)-(3)③
演習	6/18(月)	2	睡眠医療学科	櫻井 滋 教授	医療関連感染制御論	1、2、 3、4、 5、6	A-6-1)⑦、 A-6-3)②、 A-6-3)③、 A-6-3)④、 A-6-1)⑦

演習	6/19(火)	1	小児科学講座	外館 玄一郎 助教	小児感染症学①	5、6	D-6-4)-(2)①、 D-6-4)-(2)②、 D-6-4)-(2)⑥、E- 2-4)-(1)①、E-2- 4)-(1)②、E-2- 4)-(1)③、E-2- 4)-(1)④、E-2- 4)-(1)⑤、E-2- 4)-(1)⑦、E-2- 4)-(1)⑧
演習	6/19(火)	2	小児科学講座	外館 玄一郎 助教	小児感染症学②	5、6	E-2-4)-(2)①、E- 2-4)-(2)②、E-2- 4)-(2)⑨、E-2- 4)-(2)⑥、E-2-2) ⑤、 E-2-2)⑦

・教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
参考書	医療機関における院内感染対策マニュアル 作成のための手引き(070413 ver. 3.0)	荒川宣親	厚生労働省	2006
参考書	医療機関における院内感染対策マニュアル 作成のための手引き(160201 ver. 6.02)	八木哲也	厚生労働省	2016

・成績評価方法

総括評価：試験成績により評価する。  
 形成的評価：講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、図書館、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	デスクトップパソコンElite Desk 一式	1	講義・試験の資料作成